

令和3年度第2回徳山高等学校学校運営協議会〔本校全日制部会〕 記録

I 日 時 令和3年11月8日(水)午後3時から午後5時まで

II 場 所 徳山高等学校会議室

III 参加学校運営協議会委員

本校全日制部会委員4名参加(1名欠席)

IV 学校参加者

校長、副校長、CS活動推進員

本校全日制:教頭、分掌課長等5名、生徒(令和3年度前期・後期生徒会執行部役員)10名

V 会議概要

1 議事

(1) 取組実施状況の報告

・学校現況

全日制の学校現況について説明。全体概要、学校行事、SSH、部活動成果など。今年度は、密を避け工夫して運動会、徳校祭を開催。ドローン撮影、ズーム配信を行う等新しい取り組みを行った。

・地域連携の取組状況(学校支援・地域貢献)について

様々な講演会等、地域の協力を得ながら行っているが、今年度の特徴としてはオンラインにより実施したものが多し。

・学校評価についての確認

(2) 取組に係る質疑、提言、意見交換

2 グループ別協議

(1) テーマ説明〈学校行事の今後の方向性について〉

・昨年はコロナ禍で中止とした2大行事を、今年度は対策に工夫を凝らして開催。その他オンラインで実施される行事が増えている。今後、学校行事をどのように行っていくのがよいか?

(2) グループ別協議

・参加学校運営協議会委員、生徒、教員を7人ずつ3グループに分け協議を実施。

(3) 共有発表(各グループとも発表は生徒)

【Aグループ】

・体育祭について。3年生が目立ちすぎるのでは?という意見があったが、受験を控えた3年生が一番盛り上がる場でもある。ダンスやアーチ制作も大変なので1、2年生も手伝えるようなことがあるといい。

・入学式関連について。新入生や他学年と交流できるような行事があるよ。

・クラスマッチについて。去年のクラスマッチで行われたクイズが意外と好評だったため、スポーツ以外の競技ももっととりいれるといい。

・文化祭について。準備期間をもっと増やす。コロナ前のようにやはり屋台をやりたい。

【Bグループ】

・主に2大行事について話し合い、前年の規模や固定概念にとらわれないことが大切ということを確認した。今年2大行事で行ったオンライン配信は、例えば単身赴任の家族や遠方に住んでいる方、用事で来られない方などに行事の様子を見せることができた。これらは今後も必要と思いつけていくといい。

- ・時代の変化に即座に対応する対応力も必要。伝統を引き継ぎつつ、新しい社会を取り入れた行事を作っていきたい。

【Cグループ】

- ・「学校行事は学校生活に必要なものなのか？」という観点で話し合いをした。運動会については「3年生がアーチ制作やダンスをするが、受験を控え負担が厳しいのではないか？」等、様々な意見が出た。徳高祭については「クラスメートとの友情が深まったり、いい思い出を作ることができる」等の意見があり、徳高祭や運動会などの行事は「やったほうが良い。社会に出てからでは味わうことができない経験もでき、自分たちで行動することの達成感ややりがいがあると感じたので、行事はやったほうが良い」と感じた。